

留萌市第2回市民検討会議 議事概要

日時：令和7年6月19日（木）15:00～17:00

場所：留萌市役所 3、4号会議室

出席者 委 員	藤野委員（座長）、笠井委員（副座長）、橋本委員、前田委員、炭谷委員 村上委員、坂本委員、小川委員、佐藤委員、伊端委員、矢作委員 志田委員、菖蒲委員、山本委員 ※順不同
欠席委員	上田委員、畑中委員、谷委員
オブザーバー	留萌市 渡辺総務部長、海野地域振興部長、大和都市環境部長 吉田教育部長、三上総務課長、林政策調整課長、竹内経済観光課長 安田建築住宅課長、百瀬生涯学習課長
事務局 運営支援	留萌市都市環境部複合施設推進室：大塚室長、成田主査、遠藤主査 (株)ドーコン 田中、立花、渡邊

開 会

1. 前回の振り返り

事務局

- ・5月30日（金）、16名の委員の出席により第1回の市民会議を実施した。
- ・座長及び副座長の選任の後、「資料1：基本構想ダイジェスト」「資料2：市民検討会議の進め方」について事務局から説明を行った。
- ・検討会議の中で、佐藤委員から専門部会の設置について提案があり、これに対して委員の皆様からも賛同をいただいた。
- ・専門部会の設置や人選、役割について藤野座長から説明いただきたい。

座長

- ・専門部会のメンバーは私（藤野）、笠井副座長、橋本委員、炭谷委員、畑中委員、佐藤委員の6名とする。また、オブザーバーとして留萌市から海野地域振興部長に加わっていただく。
- ・基本計画の策定にあたり、市民検討会議のみでは全ての意見に対応することが難しいことから、専門部会にて意見を収斂させてから市民検討会議に上げるといったスキームを構築していく。
- ・専門部会については必要に応じて不定期に開催する。尚、開催の判断は私（藤野座長）がさせて頂く。
- ・提案者である佐藤委員から補足があればお願いしたい。

委員

- ・専門部会は活発な議論を推進したい留萌市の意向を受けて提案したものであり、計画立案に向けた議論がぶれないように進めていく役割があると考えている。

座長

- ・部会の設置について質問および意見はあるか。

一同

- ・なし。

座長

- ・議事を進めるにあたり、前回「申し合わせ事項」にて説明した3原則を順守して発言頂きたい。本日より、3原則にそぐわない発言についてはカットさせて頂き、場合によっては退場いただく。

2. 議事

(1) 基本計画策定に向けての前提条件の整理の確認

事務局から資料1(前提条件の整理:人口・職員数の推移、面積算定の根拠、年間利用人員、稼働率)の説明を行った。

座長

- ・「人口・職員数の推移」資料では職員数が210人、「面積算定の根拠」資料では職員数が255人と異なっているが、これは臨時職員などによる差異なのか。

事務局

- ・算出基準となる年月日や会計年度任用職員の有無などによって職員数に差異が生じている。

座長

- ・現状の庁舎規模に対して職員はどのように感じているのか。

事務局

- ・職員数は減少傾向にあるが、書類の保存量などを加味すると狭あいに感じる。
加えて施設の老朽化も一層進んでいる状況。

座長

- ・文化センターの稼働率について、施設再整備により、現状と比較して何%の上昇を見込むことができるのか。

委員

- ・以前と比較して大規模なイベントの開催が困難になりつつある。要因としては様々あるが、一つとしては主催者側の経済的な負担が考えられる。
- ・この先、音楽合宿の需要が見込まれなくなった場合は更なる稼働率の低下が懸念される。
- ・選挙の投開票など、年数回は大人数が集まるイベントが開催されるため、ないと不便なところはある。
- ・指定管理者として事業を起こすことも考えられるが、過去企画したほとんどのイベントで思うような集客を上げることができなかった。類似市町村も同様の状況ではないか。

座長

- ・文化センター内における座席など各種設備の修繕について検討されているのか。

委員

- ・毎年実施しているアンケート調査にて座席が狭いなどの意見は常に挙がっているが、施設の構造上の問題から修繕を行うことは難しい。

座長

- ・各機能の稼働状況を見ると文化センターの楽屋が使われていないと感じた。
- ・他に質問、意見はないか。

副座長

- ・今後、会計年度任用職員の増減は考えられるのか。

事務局

- ・人口の変動や業務量の増減など様々な要因が影響することから、一概に回答することは難しい。
- ・今回の資料では将来の職員数を推計することが難しいことから、過去から現在にかけての職員数の推移を基に検討している。例として、平成17年から現在までの20年間で、留萌市役所の正規職員数は86人減少している。

副座長

- ・承知した。今後、正規職員に変わって会計年度任用職員が増加する可能性もあることから今回質問させていただいた。

事務局

- ・職員数について、現時点で数十年後における適正人数を見込むことは難しいが、今後も検討を進めていきたい。

座長

- ・仮に来年度から再整備事業を開始した場合、おおよそ何年で施設を建てることができるのか。

ドーコン

- ・設計で最低2年、及び既存施設の除却は設計と同時に行うこととして、新施設の建設に2～3年要することが考えられるため、最短でも4～5年後の完成となることが予想される。

座長

- ・現状の前提条件に加えるとする、R 1 1 年度以降の推計値の反映が考えられる。

委員

- ・今後デジタル化の推進などにより、再整備後における庁舎規模の縮小はできないのか。

事務局

- ・市役所において、今年度からデジタルを活用した文章管理や電子決裁などのソフト対策を進めている。
- ・再整備に向けてはそのようなソフト対策の浸透具合なども踏まえ、適正な庁舎規模の目標について検討していきたい。

委員

- ・現状、新耐震基準を満たしている分庁舎を含め、施設再整備における現施設の活用方針に関する検討状況についてご教示いただきたい。

事務局

- ・新耐震基準を満たしていることなどもあり、施設再整備後も分庁舎は残す方向で検討している。しかし、現時点で分庁舎の具体的な活用方針は確定しているものではない。場合によっては分庁舎に職員を残すことも考えられる。

座長

- ・多少の人員の移動は考えられる。前提条件がずれると全て狂う。
- ・分庁舎などへ多少の人員移動は考えられる。
- ・前提条件が狂うと今後の検討にブレが生じてしまうことから、職員数や規模、利用頻度など今回の資料を基に今後の議論を進めていきたい。
- ・個人的には小平町のホールの使われ方の状況について興味がある。

事務局から参考資料（留萌川多段階の浸水想定区域）について説明。

座長

- ・仮に災害によって50cmの浸水が想定される場合、新交流複合施設にはどのような整備が必要か。

ドーコン

- ・50cmの浸水想定に対しては地盤面の嵩上げ、避難施設など防災機能を2階以上に配置整備することが考えられる。

座長

- ・地盤面の嵩上げに伴い、施設再整備における費用にどれほどの影響があるのか。

ドーコン

- ・対象敷地は現状整地されていないことから、嵩上げに伴う影響はそれほど大きくないと考える。

座長

- ・本会議にて浸水に関するこれ以上の議論は不要と考える。他に質問や意見はあるか。

副座長

- ・可能性は低いですが、津波浸水に対するハザードマップの状況や先日公表された「日本海沿岸の地震・津波被害想定」を踏まえた見解についてご教示いただきたい。

事務局

- ・津波浸水について、対象地域は最大で50cm程度の浸水が想定されることから、再整備にあたってはそのようなリスクを最小限にする取組を実施する必要がある。ただ、周辺地域に主要な避難場所が無いことから、開運町やその周辺地域の住民を救う津波避難タワーのような機能を新交流複合施設に整備することも考えられる。

座長

- ・津波浸水に関する資料はないのか。

オブザーバー

- ・今年度最新の津波浸水ハザードマップを作成する予定。

座長

- ・津波浸水ハザードマップ上において想定している地震、津波の状況についてご教示頂きたい。

事務局

- ・増毛の活断層で最大震度6の地震が発生した場合の津波浸水を想定している。

委員

- ・50cmの津波浸水想定に対する整備方針の検討は妥当と考える。現段階ではこれ以上深掘した議論は必要ないのではないか。

座長

- ・津波、洪水災害双方において、50cmの浸水想定を前提条件として検討を進める。

(2) 基本構想策定後の市民意見の整理とその対応について

事務局から資料2（本構想策定後の市民意見の整理とその対応について）について説明。

座長

- ・資料2について質問、意見はあるか。

委員

- ・バスターミナル機能について、JR羽幌本線が廃止された際、小平や古丹別、羽幌などの駅跡地にてバスターミナルが整備されたが、現在にかけて効果的な活用ができていないと感じている。
- ・新交流複合施設にバスターミナルを配置するよりも各地域のバス停を増加させた方が効果的ではないかと感じている。

座長

- ・次の資料の議題にもかかる話になるので、バスターミナル機能に関する話題は保留とさせて頂く。
- ・他に質問、意見はあるか。

一同

- ・なし。

(3) 導入機能の使い方について

事務局から資料3（導入機能と使い方について）について説明。

座長

- ・バスターミナル機能に関しては、地域におけるバス停の増加、及び栄町周辺におけるバス停の集約といった検討事項がある。
- ・資料3について他に質問、意見はあるか。

委員

- ・市民交流機能の中で、託児所など保護者に向けた子どもの預かり機能については検討されているのか。

事務局

- ・子どもの預かり機能に関する議論はこれからと考えている。

座長

- ・委員の意見であった託児所は市職員、市民全般のどちらに向けたものなのか。

委員

- ・市民全般に向けたものと考えている。

座長

- ・子育て支援に関する機能について検討するにあたり、市の所管はどこにあたるのか。

オブザーバー

- ・現在、子育て支援機能に関する取組を新たに来年度から進める予定がある。その中で新交流複合施設にも入りこむことが出来るメニューであれば検討は可能。また、このような取組を進めるには、市内の既存事業者との調整も必要になる。

座長

- ・現状における市職員の子どもの預かり先についてご教示いただきたい。また、このような子どもの預かり機能に対する需要はあるのか。

事務局

- ・留萌市立病院には保育所が併設されているが、市役所には子どもの預かり機能がない。

オブザーバー 海野地域振興部長

- ・公民館などで事業を行う際は、託児スペースを設定し、託児サービスと事業を並行して実施している例もある。
- ・新交流複合施設において常設の預かり機能を配置せずとも、市内の既存事業者でそのような機能はカバーできるのではないか。

座長

- ・新交流複合施設の一部スペースを子どもの預かり機能をもった市内の既存事業者に貸し出すことは可能なのか。

オブザーバー

- ・市民交流機能において市民に向けたイベントを実施する為に託児スペースを設置することは考えられる。

委員

- ・バスターミナル機能について、自身は公共交通機関を頻繁に利用する。
- ・市民による新交流複合施設やその周辺施設の頻繁な利用、及びバスターミナルを起点とした周辺都市（増毛、札幌など）や市内各地区への移動が可能な交通ネットワークの構築の実現が見込まれるのであれば、新交流複合施設にバスターミナル機能を配置する意味がある。

委員

- ・自然エネルギーの活用、省エネ化に対する検討状況（自然エネルギーの種類、蓄電や売電の想定など）についてご教示いただきたい。

事務局

- ・Z E B 関連の補助金も含めて検討しているが、どの手法を採用するかについては検討中。

ドーコン

- ・Z E B 認証まで目指す場合は各種設備の高度化及び創エネに向けた整備が必要だが、Z E B Ready であれば各種設備の高度化のみで認証を受けることが可能。
- ・最初は最低限の整備に留め、その後の維持管理において高度化について検討を進めるのが良いのではないか。
- ・創エネの設備としては、他施設事例では太陽光パネルの設置が最も一般的。蓄電も考えられるが、金額や整備可能範囲などによって程度が異なる。

委員

- ・新交流複合施設を防災拠点として捉えた場合、災害時における電力確保の観点から蓄電機能は必要と考えている。

座長

- ・現在の留萌市役所に自家発電機能は整備されているのか。

事務局

- ・自家発電機能はないが、必要最低限の発電機を確保している。今後は最低限の蓄電、及び自家発電機能が必要になると認識している。

座長

- ・電力の供給可能日数や供給範囲など、自家発電機能の整備に向けた考え方についてご教示いただきたい。

ドーコン

- ・機能を絞っての自家発電であれば長持ちする
- ・電力復旧までの日数は災害規模によっても異なる。弊社ビルの自家発電機能は1～2日程度の供給が可能。
- ・災害時、施設全てを電力供給の対象にすると供給時間の減少が懸念されることから、施設内において災害時の電力供給の範囲を絞ることが重要。

座長

- ・再整備時には蓄電、自家発電機能の配置が望まれる。他に質問、意見はあるか。

委員

- ・食堂の必要性について市職員はどのように考えているか。

事務局

- ・現在、市役所には食堂が配置されているが、新交流複合施設には敢えて導入しない方向で検討している。理由は1階にカフェ機能を持つ事業者の参入可能性があることや、整備予定地周辺にコンビニや飲食店が多く立地していることが挙げられる。

副座長

- ・この場にいる市職員が食堂の必要性についてどのように考えているのか伺いたい。

委員

- ・食堂の利用はない。自宅が市役所から徒歩圏内にあり、昼食は周辺のコンビニで弁当などを購入した後に自宅で食えることが多い。
- ・入庁当初は食堂を利用していたが、利用人数が多いことによってスムーズに食事をとることができなかったことから、途中でコンビニ利用に変更した。

委員

- ・現在は弁当を持ち込んでいるが、入庁当初は昼食時頻繁に食堂を利用していた。
- ・食堂は自分と他の職員、外部の方々との交流の場として機能していた。

委員

- ・食堂は毎日利用している。昼休みが45分しかないことや他の飲食店と比較して安価であることから、今後も残してほしい。

委員

- ・食堂は毎日利用しており、通常の飲食店と比較して安価であることから、非常に満足している。
- ・昼休みの時間が増えると、周辺の飲食店に行くことも考える。

副座長

- ・旭川合同庁舎の食堂は職員の他に市民の方々も利用ができることから、昼休み時は手狭になるのではないかと感じた。
- ・市民交流機能に食堂を整備する場合、市職員の1/3、及び市民が利用できる程のスペースが必要になると考えている。
- ・文化センターの稼働率について言及があったが、再整備にあたっては現文化センターの各部屋や市役所の会議室、議会機能を併用することでコンパクトな整備を目指すことができるのではないかと。

委員

- ・以前は文化センター内にも食堂があり、同様にセンター内に配置されていた教育委員会の職員が頻繁に利用していたが、利益を見込むことができずに閉店してしまった。
- ・食堂の存続については、整備予定地周辺の立地環境を踏まえて判断するべき。
- ・文化センターの各部屋は会議目的で利用されることが多いので、有効活用が出来て稼働率も上がるようであれば各機能の併用も1案として考えられる。

座長

- ・会議室や控室、託児スペースなどの共有については違和感がないと感じている。
- ・議会機能について何か質問、意見はあるか。

委員

- ・議会室自体は不要であり、再整備後は会議室の一部で議会運営をする方法が良いと考えている。

委員

- ・初山別村でも以前から議会室と会議室を併用していることから、今後の人口減少を踏まえた効率的な整備といった観点で議会機能の併用には賛成。

委員

- ・自身も皆様の意見に賛成。人口減少が進む中で、議会機能も時代に沿った改革が必要と考えている。
- ・防災機能について、屋上の活用や防災設備の利活用、防災機能の配置などに対する検討状況についてご教示いただきたい。

事務局

- ・屋上について、基本構想上は災害時にホバリングスペースとしての活用を想定している。
- ・庁舎機能の内、災害本部は2、3階への配置を想定している。その他、ホール機能やコンベンション機能についても災害時の避難場所として位置づけるのであれば、同様に2、3階への配置が想定される。
- ・防災機能に資する機能配置の他にも、浸水に備えて防潮板の設置や1階部分の嵩上げも想定される。
- ・その他、防災備蓄倉庫や外階段の整備、バリアフリーへの対応についても検討しなければならない。

座長

- ・新交流複合施設に行政窓口を配置する場合、金融機関もあった方が良いのではないかと。

委員

- ・採算面で収益を見込めない場合は検討に挙がることはない。
- ・再整備にあたり、廃校など既存施設の活用も考えられるのではないかと。

座長

- ・可能性としては考えられるが、今回は旧駅を対象にした再整備に関する議論が主題となるため、既存施設の活用に関する話題は除外する。
- ・イメージとしては新交流複合施設へ支店自体の移転も考えられるのではないかと。

委員

- ・採算性や賃料の課題もあることから、支店を移転させることは難しい。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

委員

- ・今後会議を進めるにあたり、書面における質問及び回答内容の公表は考えているか。

座長

- ・委員から書面にて質問をいただいているが、現段階では回答の作成まで至っていない。
- ・今後も書面にて質問、意見が挙げた場合は一度専門部会にて整理し、その後の市民検討会議にて報告する。
- ・市民交流機能は重要と考えている。参考として遠軽の事例（遠軽町芸術文化交流プラザ「メトロプラザ」）についてご存じの方はいるか。

委員

- ・メトロプラザ内のオープンスペースに机や椅子を配置し、電車待ちなどの中高生が一定時間滞在可能な場所として整備されている。実際稼働率も良いと聞いている。

座長

- ・中高生のたまり場があると良い。
- ・事務所機能はどのようなものを想定しているか。

事務局

- ・事務所機能は管理運営団体のための事務所を想定している。
- ・直営を含め運営方法は複数案想定されることから、事務所機能の具体的な中身について現段階で確定しているものはない。

座長

- ・留萌市は現状、コンベンション機能を産業会館に依存していることから、新交流複合施設にはある程度の人数が収容可能なコンベンション機能の配置が望ましい。また、産業会館の管理は商工会議所であることから、再整備時には商工会議所が入ることも考えられる。

委員

- ・再整備にあたっては周辺のまちづくりについても検討しなければならない。市のまちづくり構想とリンクできると良い。

座長

- ・市民検討会議のゴールとして、各機能についてどの程度まで議論すべきか。

事務局

- ・最終的には階層ごとの大まかな配置について決めなければならない。

座長

- ・本日は各機能について総論的に皆様へ伺った。今後も本会議以外で質問、意見があれば文書にて頂ければ専門部会にて整理し、フィードバックする。

副座長

- ・本会議の最終的な目標物、及び基本設計、実施設計に向けた契約などの流れについてご教示いただきたい。

事務局

- ・本会議の目的は、旧 J R 留萌駅跡地に新交流複合施設を整備するにあたり、基本構想をベースとして各導入機能の必要性や役割について検討頂き、検討結果を基本計画に反映するものである。
- ・事業手法が未確定ではあるものの、事務局の想定として基本設計以降はプロポーザルによるコンペを実施し、その中の最優秀事業者と随意契約を結ぶことを考えている。

座長

- ・他に質問、意見はあるか。

一同

- ・なし

5. その他

事務局

- ・次回会議は、委員の皆様の基本構想本編を確認頂いた上で、改めて各導入機能について議論させていただきたい。
- ・次回会議の日時は7月30日（水）15：00とさせて頂き、次回会議までに専門部会の開催を予定している。
- ・文書での質問、意見を希望する方は事務局までメールをいただきたい。
- ・市民検討会議の議事録は早期に共有いただきたい。

座長

・以上で本会議を終了する。

閉 会

以 上